



作業療法学専攻 先輩の成長実感

在学生編

理想の作業療法士をめざす

実践の多様な刺激がある環境で



細貝 笑美 さん

保健医療学部 リハビリテーション学科
作業療法学専攻 4年次生
千葉県立千葉南高等学校出身

幼い頃から親しんできたピアノの経験を生かしたいという考えから、作業療法士に加え音楽療法士の資格も取得できる植草学園大学に入学。実習などを通じ、心のケアの大切さを実感しながら一人ひとりに寄り添う作業療法士をめざしている。

細貝さんの成長ポイント

01



授業中や授業後に
先生に積極的に
質問する

02



ロールプレイを通じ
音楽療法を
実践的に学ぶ

03



整形外科病院での
実習で心身機能の
評価に挑戦する

細貝さんの学び方

作業療法に加え、音楽療法のスキルを修得

入学前 作業療法士と
音楽療法士の
資格を取得できる
カリキュラムに
魅力を感じ入学



3年次 「応用音楽療法」で
ロールプレイにより
実践的にスキルを磨く



3-4年次 卒業研究で鑑賞曲による
感情の変化を調査する



一人ひとりに寄り添う
作業療法士が目標



1年次 修得する知識量の多い
「解剖学」を積極的に
質問して乗り越える



2-3年次 見学実習と地域実習で医療・介護の
現場を目の当たりにする



3年次 整形外科での評価実習で
患者さんに評価を実施



Check!

音楽が人に与える影響を 実験によって具体的に検証

「卒業研究」

(3・4年次)

「好みの曲とそうでない曲で聴いた人の反応はどう変わるのか？」を卒業研究で検証。実験によって音楽が感情に与える作用を確かめ、音楽療法に役立つエビデンスをまとめました。



Pick UP!

音楽療法士の資格が取得可能



保健医療学部リハビリテーション学科では、全国でも珍しい、音楽療法士（2級）の資格取得に対応したカリキュラムとなっています。養成課程44～46単位を修学することで取得できます。



作業療法学専攻 先輩の成長実感

卒業生編



石橋 裕子 さん

保健医療学部 リハビリテーション学科
作業療法学専攻 2024年3月卒業
国保旭中央病院 勤務

植草学園大学で培った
専門知識と実践力を糧に
病院の作業療法士として活躍

4年次の実習先の病院で急性期病棟でのリハビリテーションの仕事に魅力を感じたのをきっかけに同じ病院に入職。「医療の場」から「生活の場」への架け橋を最も早く架けられる急性期に、作業療法士としてのやりがいを感じている。

石橋さんの成長ポイント

01



多様な患者さんに関わることができる
急性期の魅力を実感

02



多職種連携の学びで
チーム医療の
重要性を実感

03



患者さんへの理解の
土台となる多様な
専門知識を修得

石橋さんの学び方

学生時代の総合的な学びが現場のあらゆる場面で生きている

学生時代

4年次に総合病院での実習に臨み、急性期病棟の仕事に興味をもつ



いろいろな診療科の
患者さんに関わるのは
勉強になる

職員の方も
皆親切



自習先と同じ
病院に入職

他の専門の学生と合同の授業などで、
さまざまなグループワークを経験

患者Aさんにはどんな治療が
最適だと思いますか？



専門によって
視点が違うのは
大もしろい

人間の身体やリハビリを中心に幅広い
知識を身につける



どれも大事だから
きちんと取り組まないと

チーム医療への
理解
共感性
傾聴力

身体の知識
リハビリの知識
社会保険の知識
広い視野

作業療法士として病院で勤務

急性期の病棟に入院している患者さんの
リハビリを主に担当

患者さんの回復を
間近でみられるのは
やりがいがある



もう一度
やってみましょうか？

理学療法士や看護師と対話しながら
患者さんに最適なリハビリを検討

相手の立場への
理解が大切



ここは注意が
必要ですね

脳の画像を見て
リスクを予想することも

この患者さんは
●●に気を
つけたい



退院後の生活も視野に
入れてリハビリに臨む

退院後の生活で
気になることはありますか？



石橋さんが実感する仕事のやりがい

患者さんの回復を 見届けながら日々成長

石橋さんが務める急性期の病棟には、整形外科や脳神経外科を中心に多様な患者さんが入院しています。多様な患者さんと向き合う中で適応の幅を広げ成長できること、回復する患者さんの姿を目の当たりにすることに作業療法士としてのやりがいを実感しています。



Pick UP!

医療系・教育系の専門分野の
広がりを生かし、
チーム医療の素養を磨く

「多職種連携のグループワーク」 (2～4年次)

医療や教育に関わる学科や専攻を有する植草学園大学では、異なる専門の学生がともに学ぶグループワークを授業に取り入れています。患者さんへの適切なケアを検討する課題など、学科や専攻の専門を越えて意見を交わすことで、視野の広がりや他職種理解につながります。

